

都市再生整備事業費などを増額

6月議会定例会は6月19日から22日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、国庫補助金の内示に伴う補正予算や、国民健康保険税の算定率を決める条例改正など20議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般質問では7人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をただしました。

平成30年度 一般会計補正予算

平成30年度補正予算のうち、一般会計(第1号)は、9748万円を増額し、予算総額51億4748万円とすることを全員賛成で可決しました。

おもな増額は、町道116号線の道路改良費7055万円や、下二重堀地区のハス池の歴史公園等実施設計費用2000万円などです。その財源は、おもに国

庫補助金や町債(借金)でまかないます。

質疑

阿津賀志山防墜発掘調査委託金の内容は

(松浦常雄議員)

歳入の教育費の国庫委託金で、阿津賀志山防墜発掘調査委託金とあるが、内容は。

まぢぐり 交流課長 国道4号線の付加車線の拡幅

部分に、阿津賀志山防墜の史跡指定地がかかっており、昨年度発掘調査を行った。調査報告書の印刷製本費等にかかる委託金である。

吸収抑制対策事業を実施しないのはなぜか

(村上一議員)

農林水産業費で、今年度から水田の放射性吸収抑制対策事業がなくなったのはなぜか。

産業振興課長 平成28年、29年産米の全量全

袋検査の結果、すべて測定下限値未満であったことや、平成29年度の水田土壌調査の結果から、平成30年産米から吸収抑制対策は実施しないとすると県の方針により、町でも実施しないと決定した。

道路橋梁費の減額理由は

(浅野富男議員)

土木費の道路橋梁

費を減額しており、町道4007号は当初予算の約半分の予算だが、事業変更なのか。

建設課長 当初予算で2000万円計上していた

が、社会資本整備総合交付金(道路分)の補助内示に伴い減額した。改良の必要性は変わらないため、予算内でできるところを整備し、残りは次年度以降で対応していきたい。

農林水産業費県補助金の事業の内容は

(村上正勝議員)

歳入の農林水産業費県補助金ふくしまの恵みPR支援事業などがあるが、具体的な内容は。

産業振興課長 ふくしまの恵みを減額しているが、「ふくしまプライド」販売力強化支援事業と名称が変更になった。うち45万円分の増額は、交流連携拡大のため

北海道鹿追町との交流事業を実施する。



平成30年度一般会計 補正予算(第1号)の主な内容

【主な事業】

・31年産米の吸収抑制対策事業費	△1760万円
・町道111号線改良舗装事業費	668万円
・町道116号線改良舗装事業費	7055万円
・滑川改修事業費	500万円
・歴史公園整備事業	2000万円
・上野台運動公園施設改修事業費	413万円
・その他	872万円
計	9748万円

【主な財源】

・国・県からの補助金	2566万円
・前年度からの繰越金	1973万円
・町債	4910万円
・その他	299万円
計	9748万円



改良が予定される道の駅と商店街を結ぶ町道116号線

都市再生整備計画 推進費の内訳は

問

(佐藤定男議員)

土木費の都市再生整備計画推進費増額について、主な内容は、

建設課長

国庫補助金の内示により、主に阿津賀志山防塁下二重堀地区のハス池を中心とする歴史公園として整備する費用や、それに合わせ滑川の改修、道の駅から商店街に通じる町道116号線の改良費用などである。

問

(八島博正議員)

地方債補正に、町道116号線の整備事業費が4480万円追加となっており、廃止欄には同事業費で990万円とあるが、どういふことか。

また、土木費の道路橋梁新設改良費から、都市計画費の都市再生整備計画推進費へ町道116号線の改良費用が組み換えとなっているが、なぜか。

建設課長

これまでは町単独の費用で実施予定であったが、国の交付金事業となり、公共事業債へ変更となった。

また、町道116号線の改良費用について、当初の

人事

教育委員会教育長
岡崎忠昭氏の任命
に同意

国見町渇水対策施設
財産管理委員に
大沼重好氏を選任

岡崎忠昭教育長の教育委員としての任期満了により、新教育委員会制度の下での教育長として任命することに同意しました。

前任者退職により欠員が生じた3号委員(大字貝田地区委員)について、大沼重好氏を選任することに同意しました。

人権擁護委員候補
者2名を推薦

平成30年9月30日任期満了により、畑善徳氏(再任)、佐藤ユキ子氏(新任)の推薦を適任と認めました。